
友達以上恋人未満

優笑

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

友達以上恋人未満

【Nコード】

N1189C

【作者名】

優笑

【あらすじ】

友達以上恋人未満。恋人を意識してしまった女の短編小説。

あたしとたいちはいわゆる友達以上恋人未満の関係だった。

すこし違うのはこの言葉にはいまから恋人になる、とゆう風なニュアンスがあるけど、あたしとたいちはそうではない。

たいちの都合に関係なく、なにかあつたら電話した。

たいちという暇をもてあますことはけしてなかった。

たいちがこの世からいなくなつたらあたしは大声でなきさげぶだろ
う。

きつと。

たいちには彼女がいた。

あたしとは間反対の娘で、俗にゆうお姉系だった。

初めてたいちの彼女をみたとき、いかにも、とゆう感じだった。

白いスカートからでた、細い体とすこし濃いめのアイライン。けれどそれに嫌みは感じられない。

なんでもそつなくこなせるような大人の女性だった。

歴代の彼女も似たような風貌だったためあたしはすぐにピンときた。

街でたいちと彼女の姿に気付いたとき無意識にあたしの足は二人を避ける方向へむいた。

嫉妬とかそうゆうのではない。

でも会いたくなかった。

自分がたいちとたいちの彼女に愛想よくあいさつをしてなれなれしく話をしているところを想像すると、へどがでそうになる。

たいちに報告したいことは山ほどあったけど、その場をたちさった。

なぜか自分がすごく惨めだった。

その晩、あたしはひどい夢を見た。

たいちに愛される夢。

あたしは意識していないところで、彼女に嫉妬し、そしてたいちを男としてみていたのだ。

とても気分が悪かった。

たいちはあたしを女としてみていない。

長い付き合いの中で何度も繰り返していたのに、なんだか急に悲しくなった。

来週の土曜日、あたしはたいちと二人きりでご飯をたべに行く約束をしていた。

相談があるから、とたいちから誘ってきたのだ。

きっと今の彼女の話を延々ときかされるのだろう。

土曜日の晩、あたしは間違ってもあの夢をみないよう用心して寝よ

うと思った。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1189c/>

友達以上恋人未満

2010年10月13日22時27分発行